

# 介護 徘徊監視システム CareWatcher見守り



-電子の目で介護者単独の外出を監視して不測の事態を防止-

認知症患者の行動の一つとして徘徊行動があります。

外に出てしまった折には、行方不明、交通事故、夏場なら熱中症、冬場なら凍死などに至ってしまう恐れもあります。不測の事態となった場合は、家族の悲しみはもとより、介護施設にとっては社会的責任を問われる事態にもなるやも知れません。

四六時中、徘徊癖のある患者を監視するのは介護現場にとっては大変です。ケアヘルパーさんの大きなストレスともなります。介護において徘徊対策は厄介な課題です。

## ●CareWatcher見守りシステムの仕組み

RFID技術（ICタグと電波リーダー間の無線技術）で介護者の外出を常時で見守ります。

玄関等の監視場所に設置された電波受信機器(RFIDリーダー)は介護者が装着したICタグが接近すると「接近した」という事をパソコンに知らせ、パソコンは画面及び音と光り(パトランプ)で警告してくれます。

ICタグには個人を識別する情報が書き込まれていますので「誰が」ということも識別できます。

「Aさんが玄関から外へ出ようとしている恐れがある」ということを瞬時に感知し警告を発してくれます。

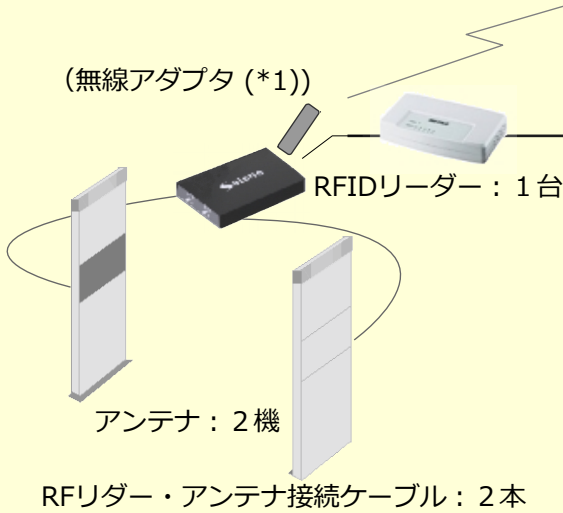


[裏面にシステム構成(機材、ソフトウェア)記載]

## ■システム構成図 (最小構成)

無線アクセスポイント(\*1:RFリーダーに無線アダプタを接続できます)

### ●玄関等の出口ゲート側 (監視口)

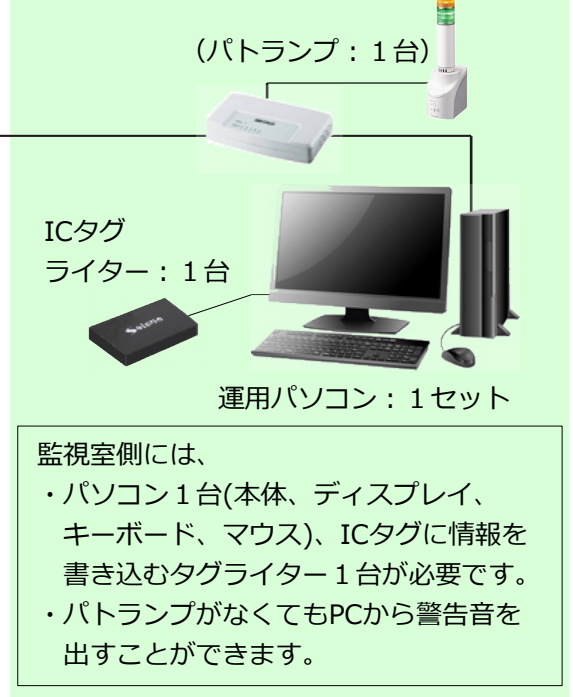


監視口側には、

- ・RFIDアンテナ2機、RFリーダー2台及び接続ケーブル2本が1セットとして必要です。
- ・アンテナ間隔が2mを超える場合、アンテナの増設が必要になる場合があります。
- ※監視口を複数設けることができます。各出口ゲートにアンテナ・RFIDリーダー・ケーブルのセットが必要です。

※注意  
ネットワーク設備については建屋の構造、有線LAN、無線LAN接続等の構成方法により必要機材が異なります。

### ●事務所等の監視管理室側



### ●宿直室等 他監視管理室



### 【監視用機材 1セット】

監視管理室	ICタグライター	1台
	パトランプ (LAN対応)	1台 (使用する場合)
監視口	RFIDリーダー	2台
	アンテナ	2機

### 【パソコン・OS必要仕様】

パソコン 及びOS	<ul style="list-style-type: none"> <li>・OS:Windows7,Windows8 (8.1) Windows10</li> <li>・CPU: 上記OSが快適に動作するプロセッサ</li> <li>・メモリ: 2GB以上 (推奨4GB以上)</li> <li>・HD: 20GB以上の空き容量が必要</li> </ul>
ソフトウェア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・CareWatcher見守り本体</li> <li>・Microsoft® .Net FrameWork4以上 (無償)</li> <li>・PostgreSQL 9.2以上 (無償) 又は、SQL Sever2012 (無償Express版可)</li> </ul>

### ※補足

RFIDリーダー・ICタグライターは特定小電力対応製品です。  
電波法による無線局の免許を受けることなく、利用することができます。